

看護学研究科 看護学専攻 修士課程

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各研究科・専攻は、それぞれの教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、専門領域ごとの特色を活かした教育方法による教育・研究を行っています。そしてその教育方法に特色ある工夫を重ね、教育・研究内容の向上に取り組んでいます。

【教育方法】

帝京平成大学大学院看護学研究科は、「少子化社会の看護支援」という設置目的にもとづいて、関連する看護・保健の分野を主要5科目として講義・演習の両面から学ぶとともに、より専門的あるいは特別な事態への対処のための専門科目を必要に応じて選択・学修します。

また少子化社会の看護支援のためには、ひとつの看護領域のみに留まらない視点に立つ必要もあることから、看護領域をまたいだ視点で課題を捉えるための演習を特別に設けています。

これらの学修を通じて、自らの研究課題を選定し、看護領域をまたいで探求し、成果を実践につなげることを目指して研鑽します。

【教育の特色ある工夫】

- ・本研究科は、少子化社会の看護支援という設置目的に即して、看護研究課題を構造化できるよう、関連する看護領域（母子・地域）と学校保健、地域保健政策を主要5科目として、講義・演習の両科目を必修科目に配して学修を促しています。
- ・更に関連看護領域（母子・地域）をまたいだ視点で課題を捉えるための演習として、母子・地域看護支援演習を設け、実践的な面から演習を実施しています。
- ・また異なる研究的視点を組み合わせる必要性から、研究指導は主・副2人の指導教員で実施しています。